

令和 5年 8月 24日
10時 10分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番 氏名 西田清久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 定住促進と地域力の向上について

- ① 急激に人口減少が進む中、地域や産業分野において人材不足、マンパワー不足が目立っている。地域の中で人材を発掘、育成、活用していくことは基本だが、地域外から優秀な人材を呼び込むことも極めて重要である。浜田市では「地域おこし協力隊」制度を積極的に活用されているが、今後の制度活用について、ニーズによってはさらに増員されるのか、一定のところで制限もあるのか所見を問う。
- ② 学校が夏休みになると、浜田広域圏子ども交流事業実行委員会の主催で「子ども交流事業」行われてきたが、今年度が最後となった。江津や浜田の子どもたちが一緒になって様々なふるさと体験をし、その過程で人間力も培われる素晴らしい事業だと思うが、これまでの評価について問う。
- ③ 協働のまちづくりを推進している浜田市にとって、地域と市の職員との係わりは、新たな施策、事業の道すじやヒントも得られ、職員が地域活動に積極的に参画することは、活動情報に加え、住民の思いも共有できる。すでに多くの職員が地域に飛び出して活動しているが、その評価について問う。

2 行財政改革について

- (1) 持続可能な財務体質への転換におけるスクラップ・フォー・ビルドの考え方について
- ① 令和3年度から自治区制度に変わる新たなまちづくりがスタートし、公民館のまちづくりセンター化により、まちづくりの拠点機能が新たに加わったことに伴う事業費を捻出するため各部裁量予算の段階的縮減が図られている。(3年間で8580万円)
新たな事業を行えば、事業費を捻出するために各部の予算を縮減しなければならないのか考え方を問う。